

## ナンバープレートカバー付きナンバープレートの視認性調査

### 【目的】

市販のナンバープレートカバーを装着したナンバープレートの視認性について、カバーを装着していない場合の視認性と比較調査する。また、耐候性試験（サンシャインカーボン試験）を行ったナンバープレートカバーを装着した場合についても、その視認性を視覚実験により調査し、ナンバープレートカバーの規制のあり方に関する検討資料とする。

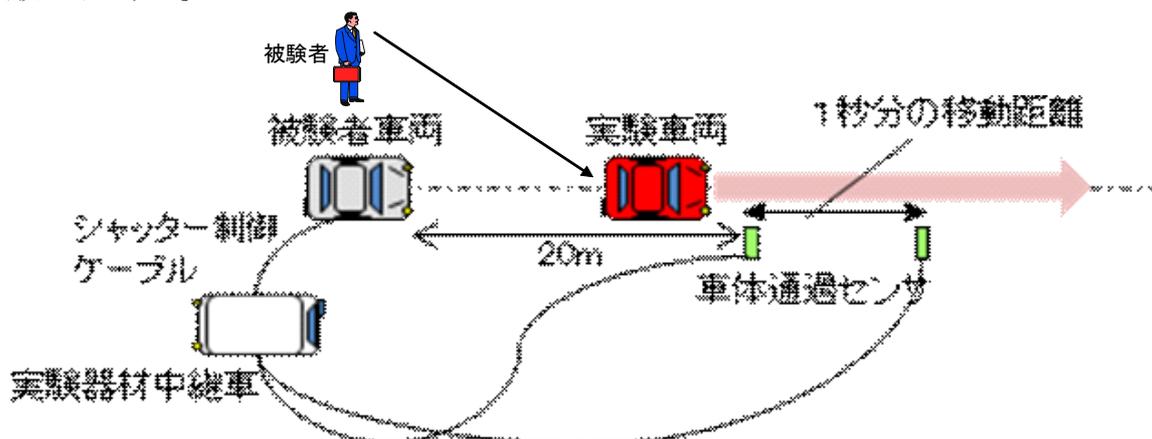
### 【耐候性試験について】

2008年1～3月にかけて、樹脂製であるナンバープレートカバーについて、サンシャインカーボンアーク灯式対候試験機により500時間の紫外線照射をし、透過率や劣化度の変化を調査する耐候性試験を行った。その結果、耐候性試験を行った4種類のナンバープレートカバーのうち2種類に肉眼による着色が認められ、光沢度の変化があった。（別添1参照）

### 【試験概要】

なるべく、実際の道路上の交通環境に近い環境で試験を行うこととし、具体的には屋外の試験場において、ナンバープレートカバーを装着して走行する先行車両（実験車両）を、後続車両（被験者車両）の運転席及び路上から一定時間（1秒程度）観察し、ナンバー表示の読み取り、およびナンバープレートの見やすさについて評価する。

#### 【実験レイアウト】



#### 【実験手順】

- ・ 実験車両の後部ナンバーにナンバープレートカバーを装着する。
- ・ 被験者は被験者車両に乗り込み、または被験者車両の傍らに立ち、シャッター付きゴーグルを装着する。
- ・ 実験者の合図で、実験車両が一定速度（20 or 30km/h）で走行を開始する。

- ・車体通過センサーの信号によりシャッターが開閉し、被験者は走行する実験車両を観察する。
- ・被験者は、実験車両のナンバー表示内容を回答し、同時に見やすさについて5段階評価をする。
- ・実験車両のナンバープレートとナンバープレートカバーを交換し、実験を繰り返す。

**【試験品】**

- ・新品ナンバープレートカバー4種（透過率 69,70,75,89%）
  - ・耐候性試験済みナンバープレートカバー4種類（新品と同種）
- （・カバーなしの場合も試験し、結果を比較する）

**【実験場所】** 交通安全環境研究所 熊谷自動車試験場

**【実験開始時間】** 夜間（19：00～）

**【被験者】** 10名  
（希望により検討委員も参加可）

**【スケジュール】**

月日		作業項目
4 月	上	契約予定
	中	
	下	予備実験
5 月	上	
	中	
	下	視認性試験（本実験）
6 月	上	
	中	第3回検討会（実験結果まとめ）
	下	報告書 提出

## ナンバープレートカバー耐候性試験結果速報

### 【試験概要】

JIS B 7753 に従って、促進耐候性試験（サンシャインカーボンアーク灯式で 500 時間照射）を行った。

### 【結果（速報）】

\* 像の鮮明度の変化（光学くしの幅 0.125mm のときの結果）

No	品名	材質	初期 透過率 (%)	500h 後 透過率 (%)	変化率 (%)	外観変化
1	NZ958（カーメイト）	ポリカーボネイト	94	91	96.8	ふくれ、はがれ、 亀裂、変形、軟 化、硬化、侵食、 チョーキングを 認めない。
2	EX-151（星光産業）	アクリル樹脂	86	82	95.3	同上
4	JD-188（ミラリード）	アクリル樹脂	81	76	93.8	同上
5	K277（SEIWA）	ポリカーボネイト	80	80	100	同上

